

平成26年度 関西学生ヨット選手権大会

大会期日 : 平成26年9月27日(土) ~平成26年10月5日(日)
開催地 : 兵庫県西宮市 新西宮ヨットハーバー (〒662-0934 兵庫県西宮市西宮浜4-16-1)
共同主催 : 関西学生ヨット連盟、兵庫県セーリング連盟
後援 : 関西470協会、関西スナイプ協会
協力 : 新西宮ヨットハーバー株式会社

レース公示

1. 規則

- 1.1 本大会は、『セーリング競技規則』に定義された規則が適用される。
- 1.2 『関西学生ヨット連盟規約』、『470学連申し合わせ事項』、『スナイプ級学連申し合わせ事項』、『艇体への大学名表示に関する学連申し合わせ事項』を適用する。
- 1.3 付則Dは適用しない。
- 1.4 規則40『個人用浮揚用具』を次のように変更する。
『水上にいる間、衣類又は個人用装備を一時的に替えたり整えたりする場合を除き、競技者は個人用浮揚用具を着用しなければならない。ウェット・スーツとドライ・スーツは、個人用浮揚用具ではない。この項は規則第4章前文を変更している。』
- 1.5 規則41に以下を追加する。
『(e) 自チームの他艇からの援助』
- 1.6 規則60.1(b)に以下を追加する。
『ただし、艇は、自チームの他艇から受けた損傷又は傷害に基づいて救済要求を行うことはできない。』
- 1.7 次の規則を追加する。
『インシデントが同じチームの艇の間であり、接触がなかった場合、規則第2章の規則違反に対してのペナルティーはないものとする。』
- 1.8 レース公示と帆走指示書が矛盾する場合、帆走指示書を優先する。

2. 競技種目

国際470級、国際スナイプ級

3. 参加資格及び申込み

3.1 参加資格

- (1) 参加チームの競技者は、次の項目を満たしていなければならない。
 - (a) 2014年度(公財)日本セーリング連盟会員であること。
 - (b) 関西学生ヨット連盟規約第6条に定められた競技出場資格を満たしていること。

関西学生ヨット連盟規約：

第6条 連盟主催、主管及び公認ヨット競技の出場資格は、以下のとおりとする。

- (1) 加盟大学に学籍のある者。ただし、通信教育部生は除く。
- (2) 出場可能年数は入学時より4年間とする。

- (c) スポーツ安全保険に加入していること。
 - (d) 国際470級の競技者は、日本470協会の2014年度団体会員登録を完了している大学ヨット部に所属していること。
 - (e) 国際スナイプ級の競技者は、2014年度日本スナイプ協会会員であること。
- (2) 参加チームの監督及びコーチは、2014年度(公財)日本セーリング連盟会員であること。

3.2 参加申込み

- (1) 参加申込書-1、参加申込書-2(競技者名簿)に必要な事項を記入の上、次の書類を添付し、平成26年9月19日(金)までに郵送すること。

(a) 添付書類：

- ・参加申込書に記載した競技者全員の『2014年度(公財)日本セーリング連盟メンバーカード写し』
- ・スポーツ安全保険の『保険証書の写し』(参加申込書に記載した競技者の名前が記載されたもの)

(b) 郵送先： 平成26年度 関西学生ヨット連盟 委員長：山口 茜

〒6**-**** 兵庫県**市*** 携帯電話：:080-****-****

(PC) : ****@ail.com (携帯) : l...@web.ne.jp

- (c) 上記(a)の書類については、平成26年度関西学生ヨット連盟主催の公式戦の参加申込時に既に提出した競技者分は、提出不要とする。

(2) 参加申込書-1及び参加申込書-2(競技者名簿)は、3.2(1)とは別に、エクセル形式で作成したものを、e-メールに添付し以下のアドレスに送付のこと。 e-メール送付先： ①②③すべて

①平成26年度関西学生ヨット連盟 委員長：山口 茜 (PCアドレス) ****@ail.com

②平成26年度 関西学生ヨット連盟 会計：桑原 充輝 (PCアドレス) ****@***.c.jp

③平成26年度 関西学生ヨット連盟 事務局長：廣島 伸一 (PCアドレス) ****@***.or.jp

(3) 支援艇許可申請書、応援艇許可申請書は、上記山口委員長宛に平成26年9月19日(金)までに郵送すること。

◎支援艇とは：監督・コーチ・交替予定の競技者・支援要員が乗艇し、選手に対し規則上可能な範囲での支援行為を行う艇。

◎応援艇とは：原則的に競技者への直接支援行為を行わない艇。(レース観戦、声援を送る艇)ただし、ゴミの受取は可能(直接支援行為とはみなさない)とする。

(a) 支援艇・応援艇の艇長は、2014年度(公財)日本セーリング連盟会員であること。

(b) 添付書類：

・支援艇、応援艇の艇長の『2014年度(公財)日本セーリング連盟会員証写し』

(c) 郵送先：参加申込書と同じ。

ただし、応援艇許可申請書は、大会期間中に陸上本部に提出することで申請を認めることがある。

(4) 期日を過ぎてからの参加申込み(書類の不足又は不備を含む)及び競技者の追加変更登録は認めない。

4. 参加料

4.1 参加料等は次のとおりとする。

(a) 参加料 : 1艇 7,000円

(b) 施設使用料：1艇 920円/日(税込)

(注) 施設使用料：平成26年9月27日(土)～28日(日)、平成26年10月4日(土)～5日(日)は不要。

4.2 振込期日：平成26年9月22日(月) 午前中

4.3 振込先：りそな銀行 **支店

名義：関西学生ヨット連盟 会計 ****

5. 艇

5.1 各クラスとも1チーム3艇とする。なお、各チームとも1艇の予備艇を認める。

5.2 艇は所属校の所有艇でなければならない。ただし、レース委員会が承認した場合にのみ、チャーター艇を認める。

5.3 国際スナイブ級は、2014年度艇体年度登録を完了し、艇体に2014年度のデコールシールを張り付けていること。

5.4 予備艇の使用は、艇の破損による場合のみとし、事前にレース委員会の許可を得なければならない。

6. セール

6.1 各チームが用意した1チーム3セットとする。なお、各チームとも1セットの予備セールを認める。

6.2 国際470級のセールは、基本計測を完了していなければならない。

6.3 国際スナイブ級のセールは、2014年の年度計測を完了していなければならない。

6.4 同一のセール番号、同一のエントリー番号を同時に使用してはならない。各クラス協会に登録されたセール番号以外の番号を使用してはならない。

6.5 国際470級のメイン・セールとスピネーカーのセール番号は同一でなければならない。

6.6 予備セールの使用は、セールの紛失又は補修ができないほどの損傷があった場合のみとし、事前にレース委員会の承認を得なければならない。

6.7 レース艇のセールには、レース委員会が準備したエントリー番号を、【添付図A】に示す位置に、メイン・セールの上部にスターボード側を上にして、重ならないように付けなければならない。

6.8 エントリー番号及びエントリー番号割当表は、受付時に配布する。

7. 日程

7.1 登録・受付 平成26年9月27日(土) 13:00～15:00

7.2 大会計測 平成26年9月27日(土) 13:30～15:00

7.3 主将会議 平成26年9月27日(土) 15:30～16:00

7.4 開会式 平成26年9月27日(土) 16:30～17:00

7.5 レセプション 平成26年9月27日(土) 17:00～18:00

7.6 予定されるレース日程とレース数は次のとおりとする。

| 日付 | 国際470級 | 国際スナイブ級 |
|----------|--------|---------|
| 9月28日(日) | 4 | 4 |
| 10月4日(土) | 4 | 4 |
| 10月5日(日) | 3 | 3 |
| 合計レース数 | 11 | 11 |

7.7 9月28日(日)・10月4日(土)は、5レースを行うことがある。

7.8 それぞれの日の最初の国際470級の予告信号の予定時刻は09:25とし、国際スナイブ級はこれに続く。

7.9 10月5日(日)は13:00より後に予告信号を発しない。ただし、13:00以前に予告信号が発せられた国際

470級のスタートがゼネラル・リコールとなった場合の新しいスタートの予告信号及びこれに続く国際スナイブ級の予告信号は発する。

7.10 表彰式と閉会式は、平成26年10月5日(日)最終レース終了後に行う。

8. 計測

参加チームは、使用する艇の艇体に関する有効な計測証明書を受付時に提示しなければならない。

9. 受付

参加チームは、大会本部で次の書類を提示し、受付を完了しなければならない。

- (a) 参加競技者の(公財)日本セーリング連盟会員証(原本)。
- (b) 監督・コーチの(公財)日本セーリング連盟会員証原本又はコピー。
- (c) 国際470級は、計測登録証明書及びINTERNATIONAL 470 CLASS MEASUREMENTFORM。ただし、2011年7月29日以前に登録された艇は、上記に加え計測登録証明書(原本)も提示しなければならない。
- (d) 国際スナイブ級の競技者は、日本スナイブ協会各フリートキャプテンが発行する『2014年度SCIRA登録完了証明書(原本)』
- (e) 国際スナイブ級は、計測証明書。

10. 帆走指示書

10.1 帆走指示書は、平成26年9月19日(金)までに関西学生ヨット連盟ホームページで公開する。

10.2 帆走指示書に対する質問は、平成26年9月25日(木)までに大会事務局にeメールで送付すること。

◎ 大会事務局連絡先：関西学生ヨット連盟 委員長：山口茜 (参加申込み先と同じ)

(PC)：**** (携帯)：****

10.3 質問に対する回答は、公式掲示板に掲示する。

11. コース

【添付図C】の見取り図は、レグ間のおよその角度、通過するマークの順序、それぞれのマークをどちら側に見て通過するかを含むコースを示す。

12. 得点

12.1 大会の成立には、1レースを完了することが必要である。

12.2 クラス別のチーム順位は、実施された全てのレースにおける各チーム3艇の得点の合計とし、より得点の低いチームを上位とする。この項は規則A2を変更している。

12.3 総合得点は、両クラスに参加した大学の、両クラスの全ての得点の合計とし、より得点の低い大学を上位とする。

12.4 参加艇数は、そのクラスに登録(受付)を済ませたチーム数×3とする。

12.5 クラス別のチーム得点がタイとなった場合は、規則A8の「艇」を「チーム」に置き換えて適用する。

12.6 総合の得点がタイとなった場合には、その大学は同位とする。

13. 支援艇・応援艇

13.1 支援艇・応援艇の艇長は、プロテスト委員会から要請された場合、公示13.5に基づき審問に出席しなければならない。

13.2 支援艇・応援艇を持ち込む場合は、『支援艇許可申請書』は受付時に提出、『応援艇許可申請書』は受付時又は大会期間中陸上本部に提出し、『支援艇・応援艇許可証』を受け取るとともに、レース委員会へ登録しなければならない。同時に、支援艇・応援艇の艇長の(公財)日本セーリング連盟会員証の原本又はコピーを提出しなければならない。

13.3 支援艇・応援艇は、水上にいる間、大会本部で貸与する『識別旗』を目立つように掲揚しなければならない。

13.4 支援艇・応援艇は、登録時に配布する『支援艇・応援艇許可証』に記載されている事項を守らなければならない。

13.5 支援艇・応援艇は、帆走指示書の指示に従わなければならない。レース委員会及びプロテスト委員会は、支援艇・応援艇の規則違反を申し立て、その支援艇・応援艇の関与するチームの艇を抗議することができる。プロテスト委員会は、審問において、その支援艇・応援艇の規則違反を認定した場合、その支援艇・応援艇の関与するチームの艇にペナルティーを課することができる。

13.6 レース委員会艇に『数字旗8』が掲揚された場合、支援艇・応援艇は、レースをしているエリアを含む全エリアにおいて、危険な状態にある艇を可能な限り速やかに救助しなければならない。

14. 賞

14.1 賞は次のように与える。

| クラス | 賞状 | 賞品 | 優勝杯(持ち回り) |
|---------|-------|-------|-----------|
| 国際470級 | 1位～3位 | 1位～3位 | 1位 |
| 国際スナイブ級 | 1位～3位 | 1位～3位 | 1位 |
| 総合 | 1位～3位 | 1位～3位 | 1位 |

14.2 種目別第1位～第3位のチームに、平成26年度第79回全日本学生ヨット選手権大会への出場権を与える。

15. 責任の否認

競技者は、完全に自己の責任でこのレガッタに参加する。規則4「レースすることの決定」参照。主催団体は、レガッタ前、レガッタ中又はレガッタ後と関連してこうむった物的損傷又は人身傷害若しくは死亡に対するいかなる

責任も負わない。

16. 大会期間中の競技者の肖像権

本大会期間中に主催団体が撮影する艇、競技者の写真・ビデオ等の映像に関する権利は、主催団体に帰属する。

17. 問い合わせ先

本大会に関する問い合わせ先は、以下のとおりとする。

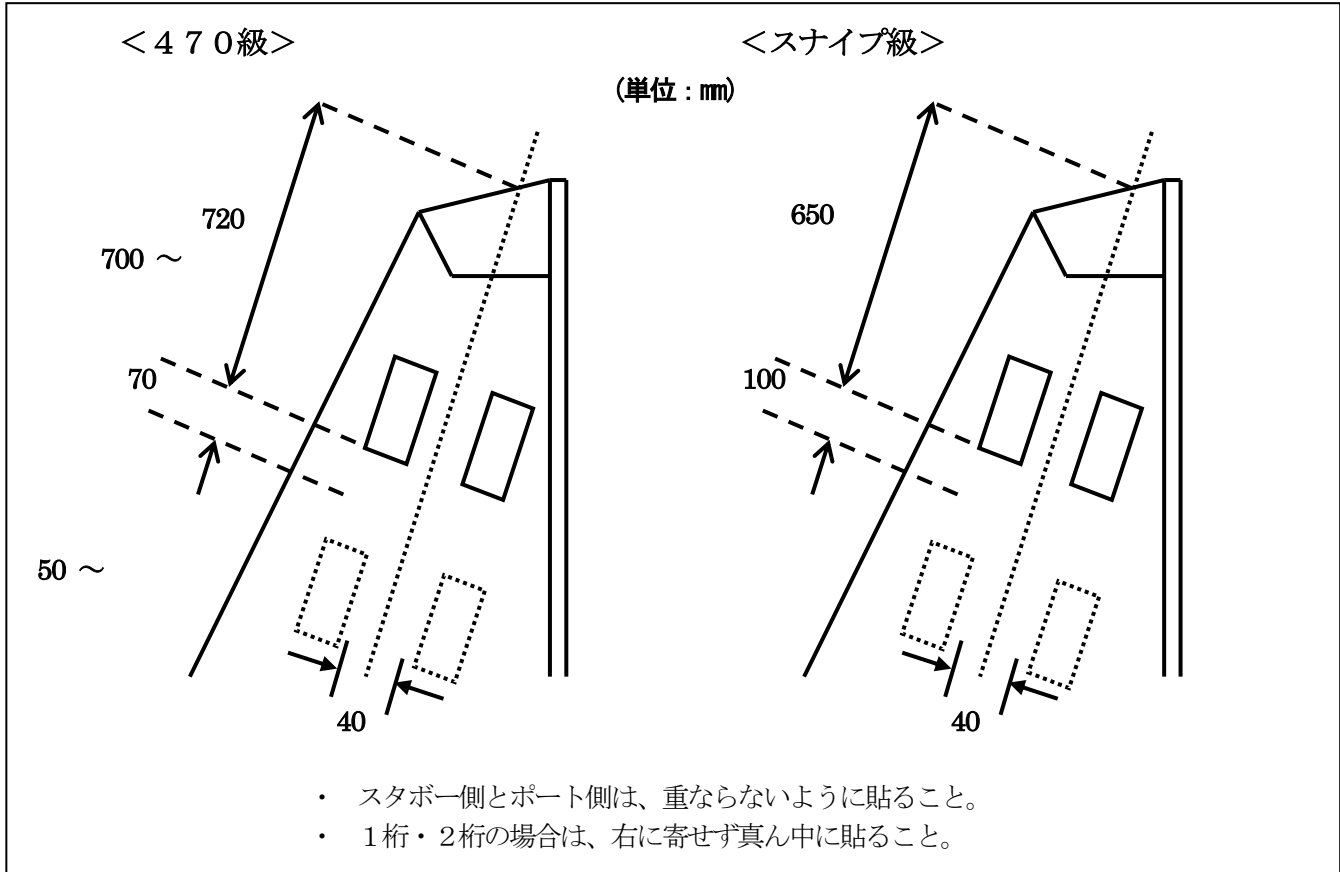
◎ 関西学生ヨット連盟 委員長：山口茜（参加申込み先と同じ）

18. 追加情報

18.1 平成26年9月27日(土)は終日出艇を禁止する。

以上

【添付図 A】 エントリー番号 貼り付け位置



【 添付図 B 】 レース・エリア



【 添付図 C 】 コース見取り図

(コース) スタート → マーク 1 → マーク 2 → マーク 3 → マーク 4 → フィニッシュ

